

附属病院・総合博物館・図書館

京都大学医学部附属病院(京大病院) www.kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都大学医学部附属病院は、2024年に開設125周年を迎えます。京都帝国大学医科大学附属医院として診療を開始し、その後も多くの診療科をはじめ様々なセンターなどの設置により発展を遂げ、高度先進医療と高度急性期医療を担う病院として、貢献を続けてきました。2024年4月には京都府の救命救急センターに指定され、歴史と伝統と広く高い専門性等を活かし、重症及び複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者を24時間体制で受け入れ、高度な専門的医療を総合的に提供していきます。



附属図書館 www.kulib.kyoto-u.ac.jp/mainlib/

約100万冊の図書をはじめ、多くの学術雑誌やデータベースで京都大学の学習・研究活動を支えています。研究成果や貴重資料の電子化にも力を入れており、Webサイトで論文や貴重資料デジタルアーカイブのコレクション等を公開しています。また、京都大学には附属図書館のほか約40の図書館・室があり、それぞれが分野に合わせた図書や雑誌を収集・整理し、快適な学習環境の整備に努めています。



京都大学総合博物館 www.museum.kyoto-u.ac.jp

京都大学開学以来収集してきた貴重な学術標本約260万点を収蔵しています。その内容は、国宝・重要文化財やそれに準ずる文化財、あるいは国際的に貴重なタイプ標本など、文化史・自然史・技術史の各分野にわたる重要な資料です。また、常設展・企画展・特別展・「子ども博物館」等のイベントと、多彩な内容で来館者をお迎えしています。



桂図書館 www.t.kyoto-u.ac.jp/lib/ja

桂キャンパスBクラスターに2020年4月に開館した桂図書館は、桂キャンパス所属者のほとんどが大学院生や研究者であることから、研究支援サービスを提供しています。学生の知的活動を促すとともに学外研究者との協働を促進することを目的としたオープンラボ、リサーチcommonsや、メディアクリエーションルームという「場」を提供し、また、ライティング支援、オープンアクセス支援、アーカイブ支援など、研究を進め、発表し、蓄積するという研究活動サイクルの各場面で必要とされる支援サービスを推進しています。

